
（習作）ある日の風景

爪切りばさみ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

（習作）ある日の風景

【Nコード】

N9692X

【作者名】

爪切りばさみ

【あらすじ】

処女作。

とりあえず1000字をめざしてみた。
内容はない

（前書き）

なんか、誤字とかあつたら教えて下されば幸いです。

最近、寒くなってきた。いつの間にかに、山は赤く染まっている
し蝉の声も聞かなくなった。

なんとなくだけど、空も遠い気がする。

つまり、布団から出るのがつらくなる季節になってくるというわけ
で、朝、布団で又ク又クするのは全人類共通の欲求と言えよう。

まあ、何が言いたいのかと言うと・・・

「遅刻しちまったなあ・・・」

というわけである。

今の時刻は9時45分。僕が通っている高校の登校時刻に間に合
うためには、1時間と15分ほどタイムスリップしないといけなく
なってしまう。

朝、早く仕事に行った両親の援助がない以上遅刻はしょうがない。

けど、そんなことを言い訳にしたらたぶん、あの悪魔の化身とも
噂されている我がクラス担任、鬼屋敷恐子先生おにやしきようすけに簀巻きにされて東
京湾に沈チンされてしまうことこの上ない。

その上、話を聞いた両親が地獄の業火を纏って天に召された俺に
襲いかかってくるだろう。

「ヤバイ。寝起きだから思考がカオスだ」

そうだな。こんな頭の状態で良い言い訳ができるとも限らないし、何よりまだ眠い。

ここはもうひと眠りして、良い言い訳を夢のなかで考えるしかないだろう。

「それじゃ、そういう訳でおやすみなさい」

めんどくさがりの僕は雨戸を余り閉めない。

もちろんカーテンくらいは付けてあるので最近流行りのプライバシーの心配はない。

カーテンの隙間を縫って入ってくる柔らかな太陽の光の中、僕は再び目を閉じた。

なんとなく、今日の夜、両親が帰ってきてからとか、明日、学校に行ってから的事を想像すると背筋に寒いものが走るが仕方がない。最初の方に言った通り、寒くなって来たときの朝、布団で又クスクするのは全人類共通の欲求なのである。

遠くで雀のさえずりが聞こえ、窓のすぐ近くにいらしいカラスの鳴き声に潰される。

何となくだが、アホー、アホー、と言っているように聞こえるのは気のせいだろうか。

ええい、生意気なカラスめ。貴様がアホーと鳴いて良いのは、夕焼けと山をバックにしながら飛んでいる時だけと相場が決まっているだろうが。

時と場所をわきまえなさい。

あー、そう言えば、昨日母さんがサツマイモをお隣さんから貰ったって言ってたっけ。

次に起きたら、良い時間だろうからそれを朝ごはんにしようかな。でもちよつと量が足りないかな。でもサツマイモ食べたいし・・・ううむどうしよう。

ここあたりで僕の記憶は無くなっている。

まあ、そんなことを考えているうちに僕の意識はいつの間にかに落ちていたってことだろう。おやすみなさい。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9692x/>

（習作）ある日の風景

2011年11月16日12時46分発行